

授 業 概 要

(こども保育科)

授業のタイトル (科目名)	授業の種類	授業担当者	当該科目に関する実務経験
こどもの生活と表現 I	(講義・ 演習 ・ 実習)	河村 和代	保育士
授業の回数	時間数 (単位数)	配当学年・時期	必修・選択
15回	30時間 (1単位)	1年・後期	必修
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所保育指針の保育の内容「表現」について理解し、演習を通して保育現場における実践力を育む。 <p>[授業全体の内容の概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所保育指針の保育の内容「表現」について学習した後、演習を行う。 <p>[授業終了時の達成課題 (到達目標)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育の内容「表現」の内容とねらいを理解する。 ・ 保育現場における実践力を身につける。 			
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 幼児教育の基本 保育の内容「表現」とは 2. 乳幼児期の発達と表現 3. 保育のなかの表現を支える環境づくり 4. 生活の中にあるものを表現として味わう 5. 美しさを経験し、美しさを表現する 6. コミュニケーションとしての表現 7. 保育者支える表現 8. 表現をつくり出す 9. 幼児教育の現代的課題と領域「表現」 10. 演習①小麦粉粘土 11. 演習②季節の歌 (春・夏) 12. 演習③季節の歌 (秋・冬) 13. 演習④わらべうた・あそびうた 14. 演習⑤手遊び 15. 期末試験 			
<p>[使用テキスト・参考文献]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ たのしく遊べるこどものうた 改訂版(すずき出版) ・ 手あそび百科 (ひかりのくに) ・ 表現の指導法 (玉川大学出版部) <p>《参考文献》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ことばと表現力を育む児童文化 (萌文書林) 			
<p>[成績評価の方法と基準]</p> <p>教科出席率が80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 考查点(75%) <ul style="list-style-type: none"> ・ 到達目標の修得状況を測るために、筆記及び実技試験により期末考查を実施する。 ・ 平常点(25%) <ul style="list-style-type: none"> ・ 事前課題を期限までに提出し、その内容が課題に沿ったものである。 ・ 授業に積極的に参加し、周囲と協調しながら自らの向上を図っている。 			